

第4学年 理科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「新しい理科4」	(東京書籍)
副教材	理科学習ノート	(正進社)

持ち物		
教科書	理科学習ノート	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことや大事だと思うところに印をしたり、調べたりして、予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。
- 理科室では、きまりを守って安全に実験をしましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

ぜんき 前 期	こうき 後 期
1. あたたかくなると 2. 動物 ^{どうぶつ} のからだのつくりと運動 ^{うんどう} 3. 天気 ^{てんき} と気温 ^{きおん} 4. 電流 ^{でんりゅう} のはたらき 5. 雨水 ^{あまみず} のゆくえと地面 ^{じめん} のようす 6. 暑 ^{あつ} くなると 7. 月 ^{つき} や星 ^{ほし} の見え方 ^{みかた}	8. 自然 ^{しぜん} の中 ^{なか} の水 ^{みず} のすがた 9. すずしくなると 10. とじこめた空気 ^{くうき} と水 ^{みず} 11. 物 ^{もの} の体積 ^{たいせき} と温度 ^{おんど} 12. 物 ^{もの} のあたたまり方 ^{かた} 13. 冬 ^{ふゆ} の星 ^{ほし} 14. 寒 ^{さむ} くなると 15. 水 ^{みず} のすがたと温度 ^{おんど} 15. 生き物 ^{いもの} の1年 ^{ねん} をふり返 ^{かえ} って

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法	
技能 ^{ぎのう} 知識 ^{ちしき} ・	わかる・ できる	自然 ^{しぜん} の物 ^{もの} やきまりについての知識 ^{ちしき} を身 ^み につけ、課題 ^{かだい} をもつて観察 ^{かんさつ} や実験 ^{じっけん} をする。	発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はつぴよう} 授業 ^{じゅぎよう} の様子 ^{ようす} 単元 ^{たんげん} テスト ノート
・思考 ^{しこう} ・表現 ^{ひょうげん} ・判断 ^{はんだん}	ひょうげん 表現する	じじつ 事実 ^{じじつ} をもとにして考え ^{かんが} 、表現 ^{ひょうげん} する。	発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はつぴよう} 授業 ^{じゅぎよう} の様子 ^{ようす} 単元 ^{たんげん} テスト ノート
取 ^{しゅ} り組 ^く む態 ^{たい} 度 ^ど 主体的 ^{しゅたいてき} に学 ^{がく} 習 ^{しゅう} に	たいど 態度	しゅたいてき 主体的 ^{しゅたいてき} に理科 ^{りか} の学 ^{がく} 習 ^{しゅう} にとく ・自然 ^{しぜん} の事物 ^{じぶつ} 、現象 ^{げんしょう} に進 ^{すす} んで関 ^{かん} わり、粘 ^{ねば} り強 ^{づよ} く、 かいけつ 解決 ^{かいけつ} に取り組 ^{とく} もうとしている。 まな ・学 ^{がく} んだこと ^{しゅう} を学 ^{がく} 習 ^{しゅう} や生活 ^{せいかつ} に生 ^い かそうとしている。	発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はつぴよう} 授業 ^{じゅぎよう} の様子 ^{ようす} 単元 ^{たんげん} テスト ノート ふり返 ^{かえ} り